

## 第7回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和8年3月23日 午前10時～

### 【川西養護学校・清和台地区の保護者及び児童との意見交換について】

<問>説明させていただいた「川西養護学校・清和台地区の保護者及び児童との意見交換」についてのご感想やご質問、周りの方々の反応などがあれば、お聞かせいただければと思います。

- ・川西養護学校の子どもたちが一度仮設に移って、校舎完成後にまた移動するのは負担ではという意見があった。まず小学生が移動し、空いた小学校を川西養護学校に改修したら、一度の移動で済むのではないか。

#### 《教育委員会》

⇒ご提案の方法であれば一度の移動で対応できるのですが、そうすると川西養護学校が別の敷地で運営していくことになってしまう。清和台ならではの多様な学びという強みを持ち続けるためには、別の敷地で運営するのではなく、同じ敷地内で学べる環境を整えることが望ましいと考えている。川西養護学校の現在の校舎は古く、改修が必要。現在の校舎にしながら同時進行で工事をするのは難しいため、どの案を採用したとしても一時的に移動が発生することは避けられない。

- ・子どもの頃から障がいのある子も一緒にいる生活を経験することで、それが当たり前だという意識が自然と育まれると思うので、C案に賛成。C案のような学校を建てる場合、具体的にどこの敷地に建設する予定なのか。

#### 《教育委員会》

⇒C案であれば、清和台中と川西養護学校の敷地を一緒にして考えるのが最も広い。プールをなくし、その土地を活用することも可能である。清和台小、清和台南小、清和台中央公園も検討したが、いずれも単体では清和台中よりも狭い。また、敷地の中でどのように校舎を配置するかも考えていく必要がある。これから整備場所も含めて意見交換をしていきたい。

- ・川西養護学校には医療行為が必要な子はいないのか。

#### 《川西養護学校》

⇒3分の1の子は医療行為が必要。保健室は狭いので医療行為ができず、教室へ看護師が向かい、吸引や水分摂取、導尿などの医療行為を行っている。重度の子どもたちが通っていると思ってほしい。

- ・C案なら子どもたちの交流が生まれ、とても良いことだと思う。教育委員会も同じ考えてあれば、これからはC案に向けて進めていってほしい。保護者の中にも最初はネガティブな意見があったと思うが、今回の資料を見ると、今は前向きに捉えているように感じる。

#### 《教育委員会》

⇒保護者と話す中では、ひとつの学校にすることや、多様な学びが可能な教育環境であるC案についても前向きな意見が多く、早く実現してほしいという声も多かった。どの案にするにしても、スピード感を持って進めていく必要がある。

- ・就学前の子どもたちは障がいがあるかどうかを意識しておらず、みんな「一人のお友達」として接している。そのままの状態と一緒に育てば差別がなくなるのではないかと思うし、そうなれば清和台の未来にとっても良いことだと思う。ただ、運動時など接触することで起きる問題については時間をかけてじっくり考える必要がある。

- ・川西養護学校のほごしゃサロンに参加していた保護者はC案に賛同する声が多かったが、感染症にかかるだけで重症化して命に関わる子どもたちもいるため、交流自体を望まない保護者もいると思う。

#### 《教育委員会》

⇒新校舎を建設するには、共有スペースや独立スペースをどのように作るかについて、様々な事例を比較検討し、しっかり研究していきたい。交流に前向きではない意見についても、丁寧に対応する必要があると考えている。川西養護学校の保護者全体の意見としては交流に対して前向きである

と捉えている。

- ・教育課程の編成権限はそれぞれの学校長にある。たとえC案で川西養護学校が一緒になっても、教育課程は川西養護学校が安心して生活できるように配慮して考える。C案で進めることになったとしても、どちらかに不利益が生じるような状況にはならないと思う。交流に後ろ向きな保護者も、これまで経験がないことで不安や困難を感じているのではないと思う。
- ・自分は以前、小中一貫校の教頭を務めたことがあるが、懸念されているように小学生が中学生とぶつかって問題が起こるようなことはなく、中学生は小学生を守っていた。
- ・子どもには子どもの世界があって、大人が考えるより難しくないと思う。小学校と中学校の交流は問題なく進んでいくのではないか。
- ・放課後等デイサービスのお迎えなどもあるので、駐車場についてはしっかりと考え、子どもたちが事故に巻き込まれるようなことがないようにしなければならない。
- ・小学校給食はどうなるのか。
- ・自校式は本当に良い。おいしい給食が温かいうちに食べられるというのは良い文化。

#### 《教育委員会》

⇒ご意見いただいたそれぞれの事項については、個別に具体的な検討が必要な事項であると考えている。給食に関しては、別の視点で検討している問題。全市的に子どもの数が減り続けている現状があり、現行の運営をこのまま継続していけるのかは課題となっている。小学校のみ自校式を継続することで老朽化した給食室を改築する必要があるとなれば、かなりのコストがかかる。一方で、中学校給食センターに小学校全体の給食に対応できるキャパシティがあるのかという問題も存在する。また、川西養護学校はペーストやきざみ食など個別の調理工程があるため、センターに一任することが可能なのかなど、慎重に検討する必要があると思っている。

- ・川西養護学校は4時間目の授業が給食であり、食べること自体が学習である。
- ・小さい子どもたちにとって食べることは特に重要だと思う。給食センターからの配送に変われば、子どもたちの給食へも楽しみが減ってしまうのではないか。

#### 《教育委員会》

⇒気になるところだろうというのはよく理解している。今後、検討していく。

### 【今後の進め方について】

#### 《教育委員会》

⇒C案にした場合には校舎を建て直すことも含めるとかなりの時間を要する。早く実現してほしいという意見や、単学級が続く現状を踏まえると、悩む部分もある。ただ、市長や他の教育委員たちと話し合って決断する時期に来ていると感じている。